

「課題名：腎管状嚢胞癌のCT、MRI 所見に関する後ろ向き研究」について

○ 研究の意義・目的

腎管状嚢胞癌については、稀な疾患であることから、その診断については専門医であっても困難な状況です。今回、広島大学を中心に全国各施設の協力をいただいで、腎管状嚢胞癌の症例を集めて、今後の診断（とくに画像診断）に活かすことが出来る様、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

平成 17 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までに、広島大学病院 泌尿器科において、腎管状嚢胞癌、集合管癌、多房嚢胞性腎細胞癌、成人型嚢胞性腎腫、混合性上皮間質性腫瘍と診断された患者さんおよび平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までに乳頭状腎癌と診断された患者さんを対象とします。

（集合管癌、多房嚢胞性腎細胞癌、成人型嚢胞性腎腫、混合性上皮間質性腫瘍、乳頭状腎癌は腎管状嚢胞癌の対照となる疾患になります）

○ 研究方法

本研究は、これまでに撮影した CT、MRI、US 画像および診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査（血清 Ca、血清 LDH、CRP 等）等です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

以下の機関と共同で研究します。（広島大学に情報を集め解析します。）

大分大学、亀田総合病院、川崎医科大学、京都桂病院、倉敷中央病院、慶応義塾大学、神戸大学、埼玉県立がんセンター、静岡県立静岡がんセンター、千葉大学、天神会新古賀病院、名古屋大学、弘前大学、横浜市立大学、琉球大学、など

○ 研究期間 平成 28 年 7 月 1 日（委員会承認後）～ 平成 31 年 6 月 30 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。一時的にデータが外部業者を介する形をとりますが、その際も個人の特定は出来ない形式で対応されます。別紙（研究作業フロー表）参照

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究にデータを提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5257

広島大学病院 放射線診断科 教授 栗井 和夫（研究責任者）

助教 本田 有紀子（担当者）